

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らばん意東		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	6年 12月 1日		6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びに関して、出来る限り子ども達の要望に応えるようにしている。	子ども達のやりたい、やってみたい気持ちを尊重し、安全面なども考慮し、行っている。	遊びを自ら見つけることが出来ない子に対しては、興味のあるものを本人、家族から聞き、興味の幅が広がるように遊びの提案をしている。
2	アットホームな雰囲気のため、保護者の方が相談しやすい。	最近の施設での様子を、一人ずつお便りにしてお渡ししたり、ご自宅への送迎時に今日の様子をお伝えするようにしている。	誰か一人ではなく、スタッフ全員誰であっても相談しやすい、話しやすいと思っただけのよう、一人一人心掛けていきたい。
3	部屋の仕切りが少なく見通しが良い。室内でもボール遊びができる。また庭もあり、外遊びも可能である。	仕切りが無いので、室内でドッチボールや鬼ごっこをすることがある。その遊びに参加しない子どももいるため、どちらも遊びができるように場所の配慮をしている。また、体育館ほどの広さはないため、至近距離でボールを投げてしまう事もあり、安全面にも留意しながら行っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間同士の交流の機会がない。	同じ学校に通っている児童が多く保護者間の交流の場を作ることが今現在困難な状況にある。	今後、色々なアイデアを持ち寄り実施できるようにしたい。
2	事故防止マニュアル等のマニュアルを保護者へ周知説明ができていない。	保護者への周知、説明が不十分のため、今後面談などの際に伝えていく必要がある。	非常時等の対応、訓練を順次行い、その際にはお便りなども発行し保護者へ伝えていく。
3	家族支援プログラムや家族等が参加できる研修会や情報提供の機会がない。	家族が参加できる研修会などの情報を積極的に得ていなかった。	様々な情報を入手し、研修会などの情報を伝えるように努めていく。